



## 1 検討体制

市役所内部での検討のほか、障がい当事者や家族の人、障がい者団体の人、福祉関係者、有識者等で構成する札幌市障がい者施策推進審議会「さっぽろ障がい者プラン見直しに係る計画検討部会」を設置し、様々な意見を伺ってきました。

また、札幌市自立支援協議会等の附属機関からも意見を伺ってきました。

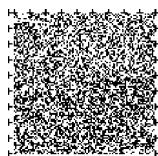
※「さっぽろ障がい者プラン見直しに係る計画検討部会」の委員名簿は⇒158ページに掲載しています。

## 2 障がい児者実態等調査

計画の策定や障がい福祉施策の検討のための基礎資料等とすることを目的に、障がい児・者の生活や活動状況、障害福祉サービス等の利用状況などについて、アンケート調査を実施しました。

アンケート調査の結果については、別途、報告書としてまとめました。

実施期間：2016年（平成28年）11月16日から12月7日まで



## 3

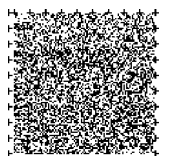
## 意見交換会等の開催

## (1) 市内主要障がい者団体との意見交換

身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい及び難病の  
 主な団体と、合計3回（2017年8月29日、9月12・13日）の意見  
 交換会を行いました。

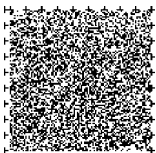
## (2) 市民懇談会の開催

さっぽろ障がい者プラン2018の全体構成案等を中心に、広く、  
 市民を対象として2017年9月17日に懇談会を開催しました。



参考1) 会議等における検討の経過

- 2016年 10月 札幌市障がい者施策推進審議会  
じったいちよう さ じっし がいようとう しんぎ  
 (実態調査実施概要等について審議)
- 11月 札幌市自立支援協議会  
じったいちよう さ じっし がいようとう しんぎ  
 (実態調査実施概要等について審議)
- 札幌市精神保健福祉審議会  
じったいちよう さ じっし がいようとう しんぎ  
 (実態調査実施概要等について審議)
- 障がい児者実態等調査 (アンケート調査)
- 2017年 3月 札幌市障がい者施策推進審議会  
じったいちよう さ けっ か ほうこく けいかく こうせい さくてい す け  
 (実態調査結果報告、計画の構成、策定スケ  
じゅー る けいかくけんとう ぶ かい せつ ちとう しんぎ  
 ジュール、計画検討部会の設置等について審議)
- 札幌市精神保健福祉審議会  
じったいちよう さ けっ か ほうこく さくていたいせい けいかく こうせい さくてい  
 (実態調査結果報告、策定体制、計画の構成、策定  
す け じゅー る とう しんぎ  
 スケジュール等について審議)
- 4月 札幌市自立支援協議会  
じったいちよう さ けっ か ほうこく さくていたいせい けいかく こうせい さくてい  
 (実態調査結果報告、策定体制、計画の構成、策定  
す け じゅー る とう しんぎ  
 スケジュール等について審議)
- 6月 さっぽろ障がい者プランの見直しに係る計画検  
どう ぶ かい けいかく こうせい けんとう す け じゅー る とう  
 討部会 (計画の構成、検討スケジュール等につ  
いて しんぎ  
 いて審議)



2017年<sup>ねん</sup> 7月<sup>がつ</sup>

さっぽろ<sup>しょう</sup>障がい者<sup>しゃぶらん</sup>プランの見直しに係る<sup>みなお</sup>計画<sup>かか</sup>検  
討<sup>けいかく</sup>委員会<sup>けんとう</sup>（計画の構成、検討スケジュール、市民意  
見<sup>しゅみんい</sup>の聴取方法等について<sup>しんぎ</sup>審議）

札幌市<sup>さっぽろし</sup>精神保健福祉<sup>せいしんほけんふくし</sup>審議<sup>しんぎ</sup>会  
（計画の構成等について<sup>しんぎ</sup>審議）

8月<sup>がつ</sup>

さっぽろ<sup>しょう</sup>障がい者<sup>しゃぶらん</sup>プランの見直しに係る<sup>みなお</sup>計画<sup>かか</sup>検  
討<sup>けいかく</sup>委員会<sup>けんとう</sup>（計画の本文<sup>ほんぶん</sup>案等について<sup>しんぎ</sup>審議）

9月<sup>がつ</sup>

さっぽろ<sup>しょう</sup>障がい者<sup>しゃぶらん</sup>プランの見直しに係る<sup>みなお</sup>計画<sup>かか</sup>検  
討<sup>けいかく</sup>委員会<sup>けんとう</sup>（計画の本文<sup>ほんぶん</sup>案、成果<sup>せい</sup>目標<sup>もくひょう</sup>、障害福祉サ  
ービス<sup>しょうがいふくし</sup>等<sup>さー</sup>の見込量<sup>びすと</sup>について<sup>みこみりょう</sup>審議<sup>しんぎ</sup>）

10月<sup>がつ</sup>

札幌市<sup>さっぽろし</sup>障がい者<sup>しょう</sup>施策<sup>しゃし</sup>推進<sup>さくすい</sup>審議<sup>しんぎ</sup>会  
（計画案<sup>けいかくあん</sup>について<sup>しんぎ</sup>審議）

札幌市<sup>さっぽろし</sup>自立<sup>じりつ</sup>支援<sup>しえん</sup>協議<sup>きぎょう</sup>会<sup>ぎかい</sup>  
（計画案<sup>けいかくあん</sup>について<sup>しんぎ</sup>審議）

保健福祉<sup>ほけんふくし</sup>施策<sup>し</sup>総合<sup>そうごう</sup>推進<sup>すいしん</sup>本部<sup>ほんぶ</sup>障がい者<sup>しょう</sup>保健福祉部<sup>ほけんふくし</sup>  
会<sup>かい</sup>【庁内会議】（計画案の検討<sup>けんとう</sup>）

11月<sup>がつ</sup>

保健福祉<sup>ほけんふくし</sup>施策<sup>し</sup>総合<sup>そうごう</sup>推進<sup>すいしん</sup>本部<sup>ほんぶ</sup>・企画<sup>きかく</sup>調整<sup>ちようせい</sup>会議<sup>かいぎ</sup>  
【庁内会議】（計画案の検討<sup>けんとう</sup>）

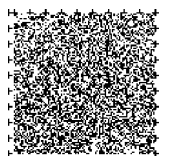
市長<sup>しちやう</sup>副市長<sup>ふしちやう</sup>会議<sup>かいぎ</sup>【庁内会議】（計画案の検討<sup>けんとう</sup>）

12月<sup>がつ</sup>

パブリックコメント

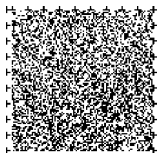
2018年<sup>ねん</sup> 3月<sup>がつ</sup>

計画公表



さんこう (参考2) さっぽろ障がい者プランに係る計画検討部会 委員名簿

	しめい 氏名 (敬称略)	しよぞくだんたいとう 所属団体等
1	あさか ひろふみ 浅香 博文	こうえきしゃだんほうじんさっぽろ し しんたいしょうがいしゃふく し きょうかい 公益社団法人札幌市身体障害者福祉協会 かいちょう 会長
2	いとう こうじ 伊藤 光治	とくていひ えいり かつどうほうじんさっぽろ し せいしんしょうがいしゃ かぞく 特定非営利活動法人札幌市精神障害者家族 れんごうかい せんむりじ 連合会 専務理事
3	いしばし たつお 石橋 達勇	ほっかいがくえんだいがくこうがくぶ きょうじゆ 北海学園大学工学部 教授
4	うえだ まりこ 上田 マリ子	にほんはつたつしょうがいねっとわーくほっかいどう かいちょう 日本発達障害ネットワーク北海道 会長
5	きたがわ さとこ 北川 聡子	しゃかいふくしほうじんむぎこかい そうごうしせつちよう 社会福祉法人麦の子会 総合施設長
6	しげいづみ としまさ 重泉 敏聖	しゅうぎよう せいかつおうえんぷらざとねっと せんたーちよう 就業・生活応援プラザとねっと センター長
7	すぎた まこと 杉田 誠	そうだんしつ かんりしゃ 相談室こころ ていね 管理者
8	ながい じゅんこ 永井 順子	ほくせいがくえんだいがくしゃかいふくしがくぶ じゅんきょうじゆ 北星学園大学社会福祉学部 准教授
9	はらだ ちよこ 原田 千代子	さっぽろ かい 札幌みんなの会
10	ふじい みゆき 藤井 美雪	いっばんしゃだんほうじんさっぽろ し て いくせいかい かいちょう 一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会 会長 (2017年7月まで)
11	まきの じゅんこ 牧野 准子	しょう とうじしゃこうし かい だいひよう 障がい当事者講師の会すぷりんぐ 代表
12	ますだ やすこ 増田 靖子	いっばんざいだんほうじんほっかいどうなんびょうれん せんむりじ 一般財団法人北海道難病連 専務理事
13	ながえ ちかこ 長江 睦子	いっばんしゃだんほうじんさっぽろ し て いくせいかい 一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会 ふくかいちょう ねん がつ 副会長(2017年8月から)



計画案について、2017年（平成29年）12月20日から2018年（平成30年）1月18日までの間、パブリックコメントを実施し、市民の皆様からたくさんのご意見をいただきました。

### (1) 意見提出者・件数

11人（団体を含む）、58件

### (2) 寄せられた主な意見の概要と市の考え方

#### ■ 横断的分野 1：障がい等への理解促進

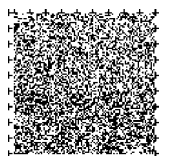
【意見】 ヘルプマークの啓発のため、多くの人が集まる場所や民間団体（バス事業者・郵便局など）にもポスター掲示を依頼してほしい。

【考え方】 多くの人にヘルプマークを知っていただくため、引き続き、民間事業者にもポスター掲示を依頼するなど、周知に努めてまいります。

#### ■ 横断的分野 2：生活環境の整備

【意見】 地下鉄、市電のバリアフリー化の安全対策は入っているが、それ以外の公共交通機関についても市民が安心して利用できるような内容になってほしい。

【考え方】 JRやバス等の公共交通機関においては、各事業者において安全対策を講じることとなっておりますが、いただいた御意見は、機会を捉えて、各事業者にお伝えいたします。



■横断的分野3：情報アクセシビリティの向上・意思疎通支援の充実

【意見】 コミュニケーション支援のタブレット利用について、  
聴覚障がい者だけではなく、知的障がい者や発達障がい  
者向けのアプリも考えて、使用範囲を広げてほしい。

【考え方】 各区役所等に配置しているコミュニケーション支援  
システム（タブレット）では、音声認識・手書き対応ア  
プリケーションと、遠隔手話通訳用のテレビ電話アプ  
リケーションを使用することができます。  
タブレットで使用するアプリケーションの拡大につ  
いては、御意見も参考に、検討してまいります。

■横断的分野4：障がいを理由とする差別の解消・権利擁護

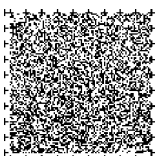
【意見】 障がい者差別解消の市民理解に向けたフォーラムに  
ついては、たくさんの方の目につくような周知・広報を  
してほしい。

【考え方】 フォーラム開催時には、広報さっぽろをはじめ、様々  
な媒体を活用し、周知・広報に努めます。

■施策分野1：暮らしの支援

【意見】 相談支援事業所の数が足りていない。札幌市の委託  
相談支援事業所も市内20か所から増やす計画はない  
ようだが、すぐに相談に乗ってもらえないことや、もっと  
ゆっくり話を聞いてもらいたいため、せめて相談員の数  
を大幅に増やしてほしい。

【考え方】 相談支援事業所（委託）については、段階的に増設を



行ってきたところであり、現在、各区に1～3事業所ずつ、計20事業所を設定しております。また、増加する相談に対応するため、これまで12の相談支援事業所に1名ずつ、相談員の増員をしてまいりました。

限られた財源の中、直ちに相談支援事業所を増設したり、相談員を大幅に増やしたりすることは困難と考えておりますが、今後も、相談を必要とする人に適切に対応することができる支援体制の在り方について検討してまいります。

## ■施策分野2：保健・医療の推進

【意見】 さっぽろ子どものこころの連携チーム事業により、受診待ちの子どもが減ることを願う。

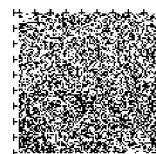
【考え方】 さっぽろ子どものこころの連携チーム事業の趣旨等に御理解いただき、ありがとうございます。

いただいた御意見も踏まえまして、引き続き、こころの悩みを抱える子どもたちのために、事業を進めてまいります。

## ■施策分野3：療育・教育の充実

【意見】 不登校の児童生徒の教育的支援については、どのような対策を行っているのか。

不登校の原因には、軽度の発達障がいや保護者の認識不足のため、集団生活が困難になっている状況があるのではないかと。保護者との共通理解がなければ、適切な





支援はできないものと考え、専門的な関係機関と連携を図りながら、個々のニーズにあった教育ができればと思う。

多くの人々が様々な障がいを理解することにより、充実した支援や合理的配慮を行うことができると思う。

【考え方】 不登校は、発達に課題があるケースも含め、早期における的確な要因の把握のために、学校の教育相談体制の充実や関係機関との連携等を通して、適切な支援の手立てを講じるよう推進しています。

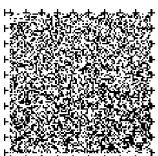
不登校の改善には、保護者や地域の理解も大切なことから、講演会や地域の要請による出前講座等によって、広く理解や協力を進めています。

また、登校しても教室に入れない生徒に対して、別室での支援を行うボランティアを中学校に配置しています。さらに、市内6か所の「教育支援センター・相談指導教室」では、仲間と共に活動する支援プログラムを実施し、学校復帰及び社会的自立に向けて取り組んでいます。

#### ■ 施策分野 4：雇用・就労の促進

【意見】 札幌市のチャレンジ雇用制度は良い試みだと思う。ただ、雇用期間後の就労についてもサポートをお願いしたい。

【考え方】 チャレンジ雇用は、市役所の非常勤職員として一定期間雇用し、その勤務経験を活かして、一般就労へステップ



プアッ<sup>ぶ あ っ ぶ</sup>プして<sup>と</sup>り<sup>く</sup>み<sup>み</sup>で<sup>す</sup>。一<sup>い</sup>般<sup>ぱん</sup>就<sup>しゅう</sup>労<sup>らう</sup>へ<sup>の</sup>ス<sup>す</sup>テッ<sup>て</sup>ッ<sup>っ</sup>  
プアッ<sup>ぶ あ っ ぶ</sup>プに<sup>さい</sup>際<sup>さい</sup>して<sup>しゅう</sup>も<sup>ぎょう</sup>、就<sup>しゅう</sup>業<sup>ぎょう</sup>・生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>事<sup>じ</sup>業<sup>ぎょう</sup>所<sup>しょ</sup>等<sup>とう</sup>の<sup>かん</sup>関<sup>かん</sup>  
係<sup>けい</sup>機<sup>き</sup>関<sup>かん</sup>と<sup>れん</sup>携<sup>けい</sup>し<sup>な</sup>が<sup>ら</sup>、支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>して<sup>かん</sup>ま<sup>い</sup>り<sup>たい</sup>と<sup>かん</sup>考<sup>かん</sup>え<sup>て</sup>お<sup>り</sup>  
ま<sup>す</sup>。

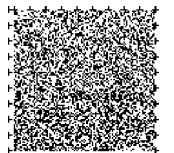
## ■ 施策分野 5：スポーツ・文化等の振興

【意見】 スポ<sup>い</sup>ーツ<sup>けん</sup>・文<sup>す</sup>化<sup>ぽ</sup>芸<sup>ぶ</sup>術<sup>ん</sup>活<sup>か</sup>動<sup>と</sup>・生<sup>し</sup>涯<sup>やう</sup>学<sup>が</sup>習<sup>く</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>に<sup>たい</sup>対<sup>し</sup>する<sup>し</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>  
で<sup>は</sup>、そ<sup>の</sup>分<sup>ぶ</sup>野<sup>ん</sup>に<sup>か</sup>関<sup>か</sup>わ<sup>ら</sup>ず<sup>、</sup>余<sup>よ</sup>暇<sup>か</sup>の<sup>か</sup>過<sup>す</sup>ご<sup>し</sup>方<sup>か</sup>が<sup>じゅう</sup>充<sup>じつ</sup>実<sup>じつ</sup>  
す<sup>る</sup>よ<sup>う</sup>な<sup>さ</sup>ー<sup>く</sup>ク<sup>る</sup>ル<sup>か</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>や<sup>、</sup>障<sup>しょう</sup>が<sup>い</sup>の<sup>う</sup>有<sup>む</sup>無<sup>か</sup>に<sup>か</sup>関<sup>か</sup>わ<sup>ら</sup>ず<sup>交</sup>流<sup>りゅう</sup>  
で<sup>き</sup>る<sup>ば</sup>場<sup>ふ</sup>が<sup>ふ</sup>増<sup>し</sup>え<sup>て</sup>ほ<sup>し</sup>い。障<sup>しょう</sup>が<sup>い</sup>の<sup>か</sup>あ<sup>る</sup>方<sup>か</sup>が<sup>き</sup>気<sup>が</sup>軽<sup>る</sup>に<sup>た</sup>立<sup>た</sup>  
ち<sup>よ</sup>寄<sup>な</sup>っ<sup>て</sup>仲<sup>な</sup>間<sup>ま</sup>と<sup>の</sup>交<sup>こう</sup>流<sup>りゅう</sup>や<sup>そ</sup>う<sup>だん</sup>相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>が<sup>で</sup>き<sup>る</sup>よ<sup>う</sup>な<sup>ち</sup>地<sup>い</sup>域<sup>き</sup>の<sup>せ</sup>セ  
ン<sup>ん</sup>タ<sup>ん</sup>ー<sup>よ</sup>が<sup>あ</sup>れ<sup>ば</sup>良<sup>い</sup>い。

【考<sup>かん</sup>え<sup>か</sup>方<sup>た</sup>】 札<sup>さ</sup>幌<sup>っぽう</sup>市<sup>し</sup>で<sup>は</sup>、障<sup>しょう</sup>が<sup>い</sup>の<sup>あ</sup>る<sup>ひと</sup>人<sup>の</sup>地<sup>ち</sup>域<sup>い</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>の<sup>ば</sup>場<sup>ば</sup>で<sup>あ</sup>る<sup>ち</sup>地<sup>ち</sup>  
域<sup>い</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>セ<sup>ん</sup>タ<sup>ん</sup>ー<sup>たい</sup>に<sup>たい</sup>対<sup>し</sup>、運<sup>うん</sup>営<sup>えい</sup>費<sup>ひ</sup>の<sup>い</sup>一<sup>いち</sup>部<sup>ぶ</sup>を<sup>ほ</sup>補<sup>ほ</sup>助<sup>じょ</sup>し<sup>、</sup>よ<sup>り</sup>  
一<sup>い</sup>層<sup>そう</sup>の<sup>ち</sup>地<sup>い</sup>域<sup>き</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>へ<sup>の</sup>参<sup>さん</sup>加<sup>か</sup>の<sup>そ</sup>促<sup>そ</sup>進<sup>しん</sup>を<sup>は</sup>図<sup>か</sup>っ<sup>て</sup>お<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>。  
地<sup>ち</sup>域<sup>い</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>セ<sup>ん</sup>タ<sup>ん</sup>ー<sup>い</sup>は<sup>い</sup>一<sup>い</sup>般<sup>ぱん</sup>型<sup>が</sup>、相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>併<sup>へい</sup>設<sup>せつ</sup>型<sup>が</sup>、就<sup>じゅう</sup>  
労<sup>らう</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>型<sup>が</sup>の<sup>し</sup>3<sup>しゆ</sup>種<sup>るい</sup>類<sup>い</sup>が<sup>あ</sup>り<sup>、</sup>製<sup>せい</sup>作<sup>さく</sup>活<sup>かつ</sup>動<sup>たう</sup>、交<sup>こう</sup>流<sup>りゅう</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>、情<sup>じょう</sup>報<sup>ほう</sup>交<sup>こう</sup>換<sup>かん</sup>  
等<sup>とう</sup>の<sup>さ</sup>ま<sup>ざ</sup>ま<sup>か</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>を<sup>お</sup>行<sup>こな</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>る</sup>セ<sup>ん</sup>タ<sup>ん</sup>ー<sup>が</sup>あ<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>。  
今<sup>こん</sup>後<sup>ご</sup>も<sup>ひと</sup>一<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>の<sup>ご</sup>御<sup>き</sup>希<sup>ぼう</sup>望<sup>あ</sup>に<sup>あ</sup>合<sup>あ</sup>っ<sup>た</sup>地<sup>ち</sup>域<sup>い</sup>活<sup>く</sup>動<sup>たう</sup>の<sup>ば</sup>場<sup>ば</sup>の<sup>じゅう</sup>  
充<sup>じゅう</sup>実<sup>じつ</sup>に<sup>む</sup>向<sup>む</sup>け<sup>て</sup>、取<sup>と</sup>り<sup>く</sup>組<sup>く</sup>ん<sup>で</sup>ま<sup>い</sup>り<sup>ま</sup>す。

## ■ 施策分野 6：安全・安心の実現

【意<sup>い</sup>見<sup>けん</sup>】 災<sup>さい</sup>害<sup>がい</sup>時<sup>じ</sup>の<sup>しょう</sup>障<sup>しょう</sup>が<sup>い</sup>者<sup>しゃ</sup>へ<sup>の</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>に<sup>つ</sup>い<sup>て</sup>は<sup>、</sup>施<sup>し</sup>策<sup>さく</sup>な<sup>ど</sup>が<sup>た</sup>  
く<sup>さん</sup>盛<sup>も</sup>り<sup>こ</sup>込<sup>ま</sup>れ<sup>て</sup>良<sup>よ</sup>か<sup>っ</sup>た<sup>が</sup>、地<sup>ち</sup>域<sup>い</sup>が<sup>せ</sup>積<sup>せき</sup>極<sup>ごく</sup>的<sup>てき</sup>に<sup>じつ</sup>行<sup>こう</sup>し<sup>て</sup>  
て<sup>く</sup>れ<sup>る</sup>か<sup>ど</sup>う<sup>か</sup>が<sup>む</sup>難<sup>ずか</sup>しく<sup>、</sup>市<sup>し</sup>民<sup>みん</sup>へ<sup>の</sup>周<sup>しゅう</sup>知<sup>ち</sup>徹<sup>てつ</sup>底<sup>てい</sup>が<sup>だい</sup>大<sup>だい</sup>事<sup>じ</sup>だ



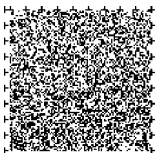
おも  
と思う。

【考え方】 さっぽろ障がい者プラン2018では、「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」を推進し、災害時に障がいのある人たちの支援を主に担っていただく町内会、自治会、地区社会福祉協議会等に対して、実際に支援する際の注意点や、避難行動要支援者とのマッチング等への助言を実施してまいります。

## ■障がい福祉計画

【意見】 地域生活（グループホームの暮らし）移行の目標には、入所施設からの移行者数だけが対象となっているが、在宅から自立する人の数も設定してほしい。

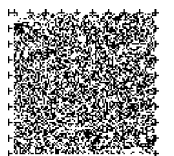
【考え方】 地域生活への移行に関する目標につきましては、厚生労働省が策定した「基本指針」に基づき設定しております。在宅からの自立に関する目標の設定につきましては、自立の定義がなく、例えば、一人暮らしをしても、親が頻繁に訪れている場合は自立と言えるか、また、個々人の実態を把握することが難しいなど、目標設定にあたっての課題があると考えており、さっぽろ障がい者プラン2018において直ちに設定することは難しいと考えます。



5

その他、<sup>た</sup>計画案<sup>けいかくあん</sup>からの<sup>しゅうせいてん</sup>修正点

<sup>けいかくあん</sup>計画案からの<sup>しゅうせいてん</sup>修正点はありません。



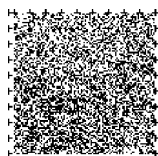
## 6

しょう じ しゃすう  
障がい児・者数しんたいしょう ち てきしょう  
(1) 身体障がい・知的障がい

(人、%)

	じんこう 人口	しんたいしょう じ しゃ 身体障がい児・者		ち てきしょう じ しゃ 知的障がい児・者	
		て ちようしょ じ しゃすう 手帳所持者数	たいじんこう ひ 対人口比	て ちようしょ じ しゃすう 手帳所持者数	たいじんこう ひ 対人口比
ちゅうおう 中央	232,224	8,646	3.7	1,368	0.6
きた 北	284,272	12,136	4.3	2,568	0.9
ひがし 東	261,204	11,822	4.5	2,677	1.0
しろいし 白石	211,489	9,111	4.3	2,175	1.0
あつべつ 厚別	127,928	5,733	4.5	1,199	0.9
とよひら 豊平	220,018	8,766	4.0	1,754	0.8
きよ た 清田	115,096	4,587	4.0	934	0.8
みなみ 南	139,196	7,125	5.1	1,308	0.9
にし 西	213,411	9,272	4.3	2,037	1.0
ていね 手稲	141,569	6,366	4.5	1,355	1.0
そうすう 総数	1,946,407	83,564	4.3	17,375	0.9

※人口：2017年4月1日現在 ※その他：2016年度末現在

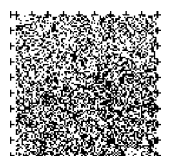


(2) 精神障がい

(人、%)

	じんこう 人口	てちょうしよ じしやすう 手帳所持者数	たいじんこう ひ 対人口比	じりつ し えん いりょう 自立支援医療 じゆきゆうしやすう 受給者数	たいじんこう ひ 対人口比
ちゆうおう 中央	232,224	2,937	1.3	4,530	2.0
きた 北	284,272	3,510	1.2	6,064	2.1
ひがし 東	261,204	3,551	1.4	6,129	2.3
しろいし 白石	211,489	3,183	1.5	5,322	2.5
あつべつ 厚別	127,928	1,561	1.2	2,720	2.1
とよひら 豊平	220,018	2,897	1.3	4,813	2.2
きよ た 清田	115,096	1,028	0.9	1,937	1.7
みなみ 南	139,196	1,835	1.3	2,752	2.0
にし 西	213,411	2,772	1.3	5,137	2.4
ていね 手稲	141,569	1,514	1.1	2,784	2.0
そうすう 総数	1,946,407	24,788	1.3	42,188	2.2

※人口：2017年4月1日現在 ※その他：2016年度末現在

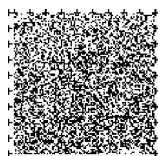


しんたいしやう しやう とうきゆうべつ  
 (3) 身体障がい・障がい等級別

にん  
 (人、%)

	2014年 <sup>ねん</sup>		2015年 <sup>ねん</sup>		2016年 <sup>ねん</sup>	
	にんずう 人数	こうせいひ 構成比	にんずう 人数	こうせいひ 構成比	にんずう 人数	こうせいひ 構成比
1級 <sup>きゆう</sup>	29,250	34.7	29,388	35.0	29,573	35.4
2級 <sup>きゆう</sup>	13,784	16.4	13,582	16.1	13,341	16.0
3級 <sup>きゆう</sup>	12,370	14.7	12,178	14.5	11,961	14.3
4級 <sup>きゆう</sup>	20,467	24.3	20,347	24.2	20,123	24.1
5級 <sup>きゆう</sup>	4,598	5.5	4,762	5.7	4,768	5.7
6級 <sup>きゆう</sup>	3,752	4.4	3,792	4.5	3,798	4.5
ごうけい 合計	84,221	100.0	84,049	100.0	83,564	100.0

かくねん ど まつげんざいすう  
 ※各年度末現在数

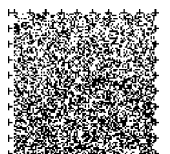


(4) 身体障がい・障がい区分別

(人)

	2014年	2015年	2016年
視覚障がい	4,534	4,480	4,424
聴覚・平衡機能障がい	5,302	5,288	5,278
聴覚	5,230	5,215	5,209
平衡機能	72	73	69
音声・言語・そしゃく機能障がい	811	815	833
肢体不自由	49,415	48,788	48,018
上肢	16,066	15,884	15,645
下肢	27,757	27,456	27,047
体幹	5,255	5,111	4,991
乳幼児期以前の非進行性の脳病 変による運動機能障がい	337	337	335
上肢機能	188	187	187
移動機能	149	150	148
内部障がい	24,159	24,678	25,011
心臓機能	13,757	14,074	14,304
じん臓機能	5,640	5,794	5,844
呼吸器機能	1,445	1,365	1,317
ぼうこう・直腸機能	2,861	2,966	3,029
小腸機能	151	147	142
免疫機能	203	226	239
肝臓機能	102	106	136
合計	84,221	84,049	83,564

※各年度末現在数





りょういく て ちようしょ じ しゃすう  
**(5)療育手帳所持者数**

(人、%)

	2014年 <sup>ねん</sup>		2015年 <sup>ねん</sup>		2016年 <sup>ねん</sup>	
	にんずう 人数	こうせい ひ 構成比	にんずう 人数	こうせい ひ 構成比	にんずう 人数	こうせい ひ 構成比
えー じゅう ど A (重度)	5,557	34.9	5,622	33.7	5,788	33.3
びー ちゅう ど B (中度)	3,641	22.9	3,784	22.7	3,836	22.1
びーばー けい ど B- (軽度)	6,712	42.2	7,260	43.6	7,751	44.6
ごうけい 合計	15,910	100.0	16,666	100.0	17,375	100.0

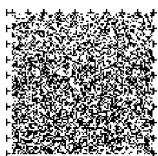
かくねん ど まつげんざいすう  
 ※各年度末現在数

せいしんしょう しゃ て ちようしょ じ しゃすう  
**(6)精神障がい者手帳所持者数**

(人、%)

	2014年 <sup>ねん</sup>		2015年 <sup>ねん</sup>		2016年 <sup>ねん</sup>	
	にんずう 人数	こうせい ひ 構成比	にんずう 人数	こうせい ひ 構成比	にんずう 人数	こうせい ひ 構成比
きゅう 1 級	1,390	6.1	1,399	5.9	1,365	5.5
きゅう 2 級	12,228	53.4	12,652	53.4	13,079	52.8
きゅう 3 級	9,266	40.5	9,664	40.8	10,344	41.7
ごうけい 合計	22,884	100.0	23,715	100.0	24,788	100.0

かくねん ど まつげんざいすう  
 ※各年度末現在数



じりつしえんいりょう せいしんつういんいりょう じゆきゆうしやすう  
**(7) 自立支援医療(精神通院医療)受給者数**

にん  
 (人)

	2014年 <sup>ねん</sup>	2015年 <sup>ねん</sup>	2016年 <sup>ねん</sup>
じゆきゆうしやすう 受給者数	39,774	40,895	42,188

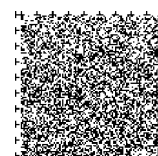
かくねん どまつげんざいすう  
 ※各年度末現在数

**7** じぎょうしよすう  
**事業所数**

ほうもんけいさーびす  
**(1) 訪問系サービス**

	2015年 <sup>ねん</sup>	2016年 <sup>ねん</sup>	2017年 <sup>ねん</sup>
きよたくかいご 居宅介護	503	523	536
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護	492	514	527
じゅうどしょうがいしやとうほうかつしえん 重度障害者等包括支援	2	2	2
こうどうえんご 行動援護	112	110	116
どうこうえんご 同行援護	262	269	279
さんこう いどうしえん (参考) 移動支援	437	445	451

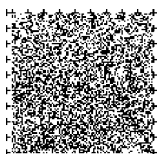
かくねん がつ にちげんざいすう  
 ※各年4月1日現在数



につちゅうかつどうけい さ - び、す  
 (2)日中活動系サービス

		ねん 2015年	ねん 2016年	ねん 2017年
りょうようかい ご 療養介護	じぎょうしよすう 事業所数	3	2	2
	ていいん 定員	376	344	344
せいかつかい ご 生活介護	じぎょうしよすう 事業所数	118	125	130
	ていいん 定員	3,449	3,630	3,730
じりつくんれん きのうくんれん 自立訓練(機能訓練)	じぎょうしよすう 事業所数	0	0	0
	ていいん 定員	0	0	0
じりつくんれん せいかつくんれん 自立訓練(生活訓練)	じぎょうしよすう 事業所数	21	23	24
	ていいん 定員	210	226	248
しゅうろういこうしえん 就労移行支援	じぎょうしよすう 事業所数	63	72	73
	ていいん 定員	837	897	865
しゅうろうけいぞくしえん えーがた 就労継続支援(A型)	じぎょうしよすう 事業所数	93	104	112
	ていいん 定員	1,900	2,053	2,085
しゅうろうけいぞくしえん びーがた 就労継続支援(B型)	じぎょうしよすう 事業所数	221	253	278
	ていいん 定員	4,202	4,914	5,479
たんきにゅうしよ 短期入所	じぎょうしよすう 事業所数	66	68	70
	ていいん 定員	240+	250+	270+
さんこう につちゅういちじしえん (参考)日中一時支援	じぎょうしよすう 事業所数	66	67	63
	ていいん 定員	597	595	617
さんこう (参考) ちいきかつどうしえんせんたー 地域活動支援センター	じぎょうしよすう 事業所数	55	53	52
	ていいん 定員	930	897	883

※各年4月1日現在数。短期入所の定員の「+」は、空床対応の事業所を指す(定員の定めなし)。



きょじゅうけい さーびす  
**(3) 居住系サービス**

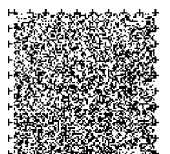
		2015年 <sup>ねん</sup>	2016年 <sup>ねん</sup>	2017年 <sup>ねん</sup>
きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	じぎょうしよすう 事業所数	145	153	162
	ていいん 定員	2,479	2,680	2,837
しせつにゅうしよしえん 施設入所支援	じぎょうしよすう 事業所数	29	30	30
	ていいん 定員	1,431	1,431	1,431

かくねん がつ にちげんざいすう  
 ※各年4月1日現在数

しょうがいじつうしよしえん  
**(4) 障害児通所支援**

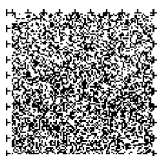
		2015年 <sup>ねん</sup>	2016年 <sup>ねん</sup>	2017年 <sup>ねん</sup>
じどうはったつしえん 児童発達支援	じぎょうしよすう 事業所数	210	240	293
	ていいん 定員	2,195	2,662	3,217
ふくしがたじどうはったつしえん 福祉型児童発達支援 せんたー センター	じぎょうしよすう 事業所数	6	7	7
	ていいん 定員	201	231	233
いりょうがたじどうはったつしえん 医療型児童発達支援	じぎょうしよすう 事業所数	3	3	3
	ていいん 定員	100	100	100
ほうかごとうでいさーびす 放課後等デイサービス	じぎょうしよすう 事業所数	245	281	341
	ていいん 定員	2,590	3,107	3,749
ほいくしよとうほうもんしえん 保育所等訪問支援	じぎょうしよすう 事業所数	19	23	23

かくねん がつ にちげんざいすう  
 ※各年4月1日現在数



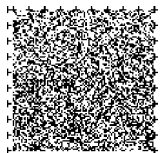
## (1) 訪問系・居住系・相談サービス

サービス種別		単位	2015年	2016年
訪問系	居宅介護	利用人数	3,622	3,767
		時間/月	73,814	77,003
	重度訪問介護	利用人数	344	362
		時間/月	86,005	94,694
	重度障害者等包括支援	利用人数	0	0
		時間/月	0	0
	行動援護	人数	667	697
		時間/月	11,428	12,161
	同行援護	人数	461	479
		時間/月	9,517	10,390
居住系	共同生活介護	人/月	2,514	2,688
	共同生活援助	人/月	2,125	2,093
相談	計画相談支援	人	3,406	3,909
	地域移行支援	人/月	8	10
	地域定着支援	人/月	30	30



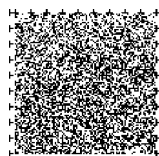
につちゅうかつどうけい さーびす  
**(2)日中活動系サービス**

さーびすしゅべつ サービス種別		たんい 単位	ねん 2015年	ねん 2016年
日中活動系 につちゅうかつどうけい	りょうようかいご 療養介護	りょうにんずう 利用人数	303	301
	せいかつかいご 生活介護	にんずう 人数	4,747	4,828
		にんにちつき 人日/月	96,093	97,976
	じりつくんれん きのうくんれん 自立訓練(機能訓練)	りょうにんずう 利用人数	4	6
		にんにちつき 人日/月	60	89
	じりつくんれん せいかつくんれん 自立訓練(生活訓練)	りょうにんずう 利用人数	132	156
		にんにちつき 人日/月	2,293	2,577
	じりつくんれん しゅくはくがた 自立訓練(宿泊型)	りょうにんずう 利用人数	41	47
		にんにちつき 人日/月	1,027	1,270
	しゅうろういこうしえん 就労移行支援	りょうにんずう 利用人数	799	769
		にんにちつき 人日/月	14,343	13,879
	しゅうろうけいぞくしえん えーがた 就労継続支援(A型)	りょうにんずう 利用人数	1,801	1,891
		にんにちつき 人日/月	36,605	38,131
	しゅうろうけいぞくしえん びーがた 就労継続支援(B型)	りょうにんずう 利用人数	4,783	5,276
		にんにちつき 人日/月	84,684	93,820
	たんきにゅうしょ ふくしがた 短期入所(福祉型)	りょうにんずう 利用人数	647	755
にんにちつき 人日/月		5,009	5,645	
たんきにゅうしょ いりょうがた 短期入所(医療型)	りょうにんずう 利用人数	107	145	
	にんにちつき 人日/月	752	996	



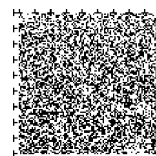
しょうがいじ し えん さ - び す  
**(3)障害児支援サービス**

さ - び す し ゅ べ つ サービス種別	た ん い 単位	ねん 2015年	ねん 2016年
じ どう は た た つ し え ん 児童発達支援	にん ず う 人数	2,740	3,117
	にん に ち つ き 人日/月	32,078	37,703
い り ょ う が た じ どう は た た つ し え ん 医療型児童発達支援	り ょ う にん ず う 利用人数	50	55
	にん に ち つ き 人日/月	378	431
ほ う か ご と う で い さ - び す 放課後等デイサービス	り ょ う にん ず う 利用人数	3,594	4,280
	にん に ち つ き 人日/月	38,864	47,343
ほ い く し ょ と う ほ う も ん し え ん 保育所等訪問支援	り ょ う にん ず う 利用人数	28	51
	にん に ち つ き 人日/月	32	67
し ょ う が い じ そ う だ ん し え ん 障害児相談支援	り ょ う にん ず う 利用人数	809	1,603
ふ く し が た し ょ う が い じ に ゅ う し ょ し え ん 福祉型障害児入所支援	り ょ う にん ず う 利用人数	711	646
い り ょ う が た し ょ う が い じ に ゅ う し ょ し え ん 医療型障害児入所支援	り ょ う にん ず う 利用人数	794	834



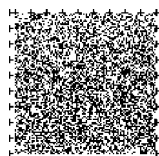
ちいきせいかつしえんじぎょう ひつすじぎょう  
**(4)地域生活支援事業(必須事業)**

	たんい 単位	ねん 2015年	ねん 2016年
そうだんしえんじぎょう 相談支援事業			
そうだんしえんじぎょう 相談支援事業			
しょう しゃそうだんしえんじぎょう 障がい者相談支援事業	かしょすう 箇所数	20	20
きかんそうだんしえんせんたー 基幹相談支援センター	せっち うむ 設置の有無	あり	あり
じゅうたくにゅうきょうしえんじぎょう 住宅入居等支援事業	じっし うむ 実施の有無	あり	あり
せいねんこうけんせいどりようしえんじぎょう 成年後見制度利用支援事業	じっし うむ 実施の有無	1	1
	じつりようにんずう 実利用人数	1	7
いしそつうしえんじぎょう 意思疎通支援事業			
しゅわつうやくしゃはけんじぎょう 手話通訳者派遣事業	りようにんずう 利用人数	394	412
ようやくひつきしゃはけんじぎょう 要約筆記者派遣事業	りようにんずう 利用人数	86	87
しゅわつうやくしゃせっちじぎょう 手話通訳者設置事業	つうやくしゃすう 通訳者数	62	60
にちじょうせいかつようぐきゅうふじぎょう 日常生活用具給付事業			
かいごくんれんしえんようぐ 介護・訓練支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	170	187
じりつせいかつしえんようぐ 自立生活支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	776	696
ざいたくりょうごとうしえんようぐ 在宅療護等支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	393	433
じょうほういしそつうしえんようぐ 情報・意思疎通支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	306	378
はいせつかんりしえんようぐ 排泄管理支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	34,160	35,488
きよたくせいかつどうさほじょようぐ 居宅生活動作補助用具	きゅうふけんすう 給付件数	100	99
しゅわほうしんようせいけんしゅうじぎょう 手話奉仕員養成研修事業	りようにんずう 利用人数	266	298



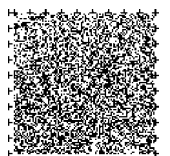


	たんい 単位	2015 <sup>ねん</sup> 年	2016 <sup>ねん</sup> 年
いどうしえん 移動支援			
こべつしえんがた 個別支援型	かしょうすう 箇所数	437	445
	にんずう 人数	2,985	3,083
	のじかんすう 延べ時間数	316,251	334,537
ちいきかつどうしえんせんたー 地域活動支援センター			
きそてきじぎょう 基礎的事業	かしょうすう 箇所数	53	52
	りょうにんずう 利用人数	590	590
はったつしょうがいしゃしえんせんたー 発達障害者支援センター うんえいじぎょう 運営事業	かしょうすう 箇所数	1	1
	りょうにんずう 利用人数	810	830
しょうじとうりょういくしえんじぎょう 障がい児等療育支援事業	かしょうすう 箇所数	5	5
せんもんせい たか いし そつうしえん おこな もの ようせいけんしゅうじぎょう 専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修事業			
しゅわつうやくしゃようせいけんしゅうじぎょう 手話通訳者養成研修事業	にんずう 人数	0	14
ようやくひつきしゃようせいけんしゅうじぎょう 要約筆記者養成研修事業	にんずう 人数	19	5

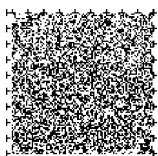


ち い き せ い か つ し え ん じ ぎ ょ う に ん い じ ぎ ょ う  
**(4)地域生活支援事業(任意事業)**

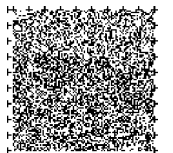
	た ん い 単 位	ね ん 2015年	ね ん 2016年
ふ く し ほ ー む 福祉ホーム	て い い ん 定 員	37	37
し ん た い し ょ う が い し ゃ に ゆ う よ く さ ー び す じ ぎ ょ う 身体障害者入浴サービス事業	り よ う に ん ず う 利 用 人 数	106	119
	の に ん ず う 延 べ 人 数	5,994	7,037
き ゅ う し ん た い し ょ う が い し ゃ じ り つ し え ん じ ぎ ょ う 旧身体障害者自立支援事業 り よ う し ゃ し え ん じ ぎ ょ う 利用者支援事業	り よ う に ん ず う 利 用 人 数	6	6
せ い か つ し え ん じ ぎ ょ う 生活支援事業			
せ い か つ く ん れ ん と う じ ぎ ょ う 生活訓練等事業			
ち ょ う か く し ょ う し ゃ し ゃ か い せ い か つ き ょ う し つ か い さ い じ ぎ ょ う 聴覚障がい者社会生活教室開催事業	の に ん ず う 延 べ 人 数	631	589
お す と め い と し ゃ か い て き お う く ん れ ん じ ぎ ょ う オストメイト社会適応訓練事業	の に ん ず う 延 べ 人 数	231	213
お ん せ い き の う く ん れ ん じ ぎ ょ う 音声機能訓練事業	の に ん ず う 延 べ 人 数	744	780
て ん じ そ く じ じ ょ う ほう ね つ と わ ー く じ ぎ ょ う 点字即時情報ネットワーク事業	の に ん ず う 延 べ 人 数	5,355	5,253
ち ゅ う と し つ め い し ゃ し ゃ か い て き お う く ん れ ん じ ぎ ょ う 中途失明者社会適応訓練事業	の に ん ず う 延 べ 人 数	650	793
に つ ち ゅ う い ち じ し え ん じ ぎ ょ う 日中一時支援事業	り よ う に ん ず う 利 用 人 数	839	840
	の に ん ず う 延 べ 人 数	30,934	33,384
	か し ょ う す う 箇 所 数	66	67



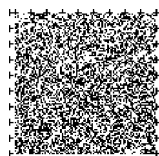
	たんい 単位	ねん 2015年	ねん 2016年
しゃかいさんかそくしんじぎょう 社会参加促進事業			
すぽーつれくりえーしょんきょうしつかいさいとうじぎょう スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	の にんずう 延べ人数	702	766
てんじこえこうほうとうはっこうじぎょう 点字・声の広報等発行事業	りようになんずう 利用人数	692	690
ほうしんいんようせいけんしゅうじぎょう 奉仕員養成研修事業			
しゅわほうしんいんようせいじぎょう 手話奉仕員養成事業	にんずう 人数	0	0
ようやくひつきほうしんいんようせいじぎょう 要約筆記奉仕員養成事業	にんずう 人数	19	5
てんやくおんやくほうしんいんようせいじぎょう 点訳・音訳奉仕員養成事業	の にんずう 延べ人数	1,620	1,579
じどうしゃうんてんめんきょしゅとくかいぞうほじょじぎょう 自動車運転免許取得・改造補助事業	りようになんずう 利用人数	59	54
たしゃかいさんかそくしんじぎょう その他社会参加促進事業			
しょうしゃそうだんうんえいじぎょう 障がい者あんしん相談運営事業	かしょうすう 箇所数	1	1
しょうしゃあいていさぽーとせんたーうんえいじぎょう 障がい者ITサポートセンター運営事業	かしょうすう 箇所数	1	1
かみさーびすじぎょう 紙おむつサービス事業	りようになんずう 利用人数	1,605	1,694
	の にんずう 延べ人数	18,878	20,159
しんたいしょうがいしゃふくしでんわせつちじぎょう 身体障害者福祉電話設置事業	りようになんずう 利用人数	31	29



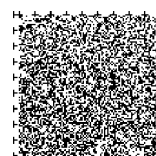
ページ	ことば 言葉	いみ 意味
6	しゃかい も でのる 社会モデル	<p>しょう ひと にちじょうせいかつ 障がいのある人が日常生活に          う せいげん しょう しん          おいて受ける制限は、障がい（身          たいしょう ち てきしょう せいしんしょう          体障がい、知的障がい、精神障が          はったつしょう ふく なんびょう          い（発達障がいを含む。）、難病を          げんいん しょう          原因とする障がいなど）のみに          げんいん しゃかい          原因があるのではなく、社会に          さまざま しょうへき ばり あ ちよく          おける様々な障壁（バリア）と直          めん はっせい          面することによって発生すると          かんが かた          いう考え方。</p> <p>しょう ふ べん          「障がいがあるから不便」なの          ではなく「障がいとともに生き          そうてい          ることが想定されていないから          ふ べん はっそう てんかん          不便」なのである、と発想を転換          したものの。</p>
6	ごうり てきはいりよ 合理的配慮	<p>しょう ひと もと 障がいのある人からの求めに          おう ふ たん す はんい          応じ、負担になり過ぎない範囲で、          しゃかいてきしょうへき と のぞ ひつ          社会的障壁を取り除くために必          よう てきせつ はいりよ おこな          要で適切な配慮を行うこと。</p>



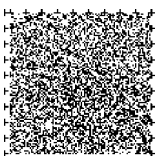
ページ	ことば 言葉	いみ 意味
7	いりょうてき けあ ひつよう 医療的ケアを必要と する子ども	えぬあいしーゆー しんせい じ しゅうちゅう ちりょうしつ NICU(新生児集中治療室) なごに ちようき にゅういん したあと、引き つづき じんこう こきゅうき い どう し 続き人工呼吸器や胃ろう等を使 よう たんの きゅういん けいかんえいよう 用し、たんの吸引や経管栄養な どの いりょうてき けあ ひつよう こ どの医療的ケアが必要な子ども のこと。
7	しょうがいふく し さーびす 障害福祉サービス	しょうがいしゃ ぞうごう し えんほう もと 障害者総合支援法に基づいて しょう ひと なんびょうかんじゃ たい 障がいのある人や難病患者を対 しょう おこな し えん ぞうしやう 象に行われる支援の総称のこと。 し えん しゅるい にちじょうせいかつ かい ご し 支援の種類は、日常生活の介護支 えん おこな かい ご きゅう ふ じりつせいかつ 援を行う「介護給付」と自立生活 しゅうろう めざ ひと し えん くん や、就労を目指す人を支援する「訓 れんとうきゅう ふ おお わ 練等給付」の2つに大きく分けら れます。支援の種類や内容の詳 さい し えん しゅるい ないよう しょう 細については116～125ページ さんしやう を参照。
7	らいふ すてーじ ライフステージ	ひと いっしやう しゅっしやう にゅうがく 人の一生における、出生、入学、 そつぎやう しゅうしやく けっこん しゅっさん こそだ 卒業、就職、結婚、出産、子育て、 たいしやく ふしめ できごと 退職などの節目となる出来事の だんかい 段階のこと。



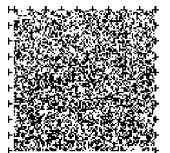
ページ	ことば 言葉	いみ 意味
15	しょうがいしゃしゅうかん 障害者週間	<p>まいとし がつ かから がつ か 毎年12月3日から12月9日まで を「障害者週間」として、障がい のある人とない人の交流を含め た啓発事業を実施し、障がいの ある人の社会参加を促進すると ともに、市民の理解と協調の精 神を育てるよう努めている。</p>
18	いくせい いりょう 育成医療	<p>さいみ まん しんたい しょう 18歳未満の身体に障がいのあ る子どもを対象に、手術などに より生活能力を回復するための 医療のこと。</p>
18	こうせい いりょう 更生医療	<p>しんたい しょう ひと たいしょう 身体に障がいのある人を対象 に、その障がいを軽くしたり取 り除いたりして職業能力を高め、 日常生活を送りやすくするため の医療のこと。</p>
18	せいしんつういん いりょう 精神通院医療	<p>せいしんしょう てきせつ いりょう ひろ 精神障がいの適切な医療を広 めるために、精神に障がいのあ る人を対象に、病院等に入院し ないで行われる精神障がいの医 療のこと。</p>



ページ	ことば 言葉	いみ 意味
19	じゅうてんせいびちく 重点整備地区	<p>しん さっぽろし ばりあ ふりー きほん 新・札幌市バリアフリー基本 こうそう こうりつてき ばりあ 構想において、効率的なバリア ふりーせいび すす ち フリー整備を進めるために、「地 いき きよてん ちく いちにち 域の拠点となる地区」や「一日の へいきんじょうこうきゃくすう にん いじょう 平均乗降客数が5,000人以上の じえいあーる ち かてつえき ちゅうしん と JR・地下鉄駅を中心とした徒 ほけん おおむ はんけい ぬとろ 歩圏（概ね半径500mもしくは1 ちゅうしん しほう はんい こうきょう km四方の範囲）について、公共 しせつ いりょうしせつ せいかつ かん 施設や医療施設などの生活に関 れん しせつ りつち じょうきょう ふ 連する施設の立地状況などを踏 せってい ちく まえて設定した地区のこと。</p>
19	まな さぽーたー 学びのサポーター	<p>とくべつ きょういくてき し えん ひつよう 特別な教育的支援を必要とす じどうせい と たい きょういん ほ る児童生徒に対して、教員の補 じよ がっこうせいかつおよ がくしゅう 助として、学校生活及び学習を おこな ひつよう し えん おこな 行ううえで必要となる支援を行 ゆうしゅう ぼらんてい あ う有償ボランティアのこと。</p>
20	じょぶ さぽーたー ジョブサポーター	<p>しょう ひと しゅうろう し えん 障がいのある人の就労支援や しよく ばていちゃく はか しよく ば 職場定着を図るために、職場に で お しょう ひと こよう 出向いて障がいのある人や雇用 ぬし じよげん おこな し えんいん 主に助言などを行う支援員のこ さっぽろし へいせい ねん ど と。札幌市では平成29年度から めいぞういん けい めい たいおう 1名増員し、計8名で対応。</p>

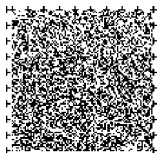


ページ	ことば 言葉	いみ 意味
20	げんきしよっぶ 元気ショップ	<p>しょう ひと りよう し 障がいのある人が利用する施 せつ つく せいひん はんばい 設などで作られる製品の販売を そくしん しょう 促進することにより、障がいの ひと しゃかいてきじりつ かつどう ある人の社会的自立や活動など りかい すす せっち の理解を進めるために設置して じょうせつ はんばいじよ いる常設の販売所のこと。 さっぽろ し ない てんぼ じえいあるさつ 札幌市内に2店舗あり、JR札 ぼろえきにしこんこーす しょく かんこう 幌駅西コンコース「食と観光の じょうほうかん ない げんきしよっぶ 情報館」内に「元気ショップいこ ち かてつなんぼくせんおどおりえきこ 〜る」を、地下鉄南北線大通駅コ んこーす ない げんきしよっぶ ンコース内に「元気ショップ」 せっち を設置している。</p>
29	りょういく 療育	<p>しょう こ しゃかい 障がいのある子どもが、社会 てき じりつ とく 的に自立できるように取り組む ちりょう きょういく 治療と教育のこと。</p>
32	さーびす ていまう きばん サービス提供基盤	<p>ぶらん しょうがい このプランにおいては、障害 ふくし さーびす とう ていまう じぎょう 福祉サービス等を提供する事業 しょ ひと しょう ひと 所や人など、障がいのある人の せいかつ しえん どだい 生活を支援する土台となるもの のことをいう。</p>

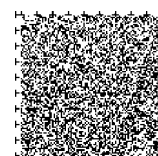




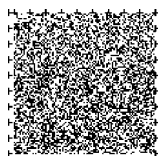
ページ	ことば 言葉	いみ 意味
39	へる ぶ ま ー く ヘルプマーク 	まわ ひとびと えんじょ はいりよ ひつ 周りの人々に援助や配慮が必 よう 要なことを知らせることができ るマークのこと。
39	へる ぶ か ー ど ヘルプカード 	きんきゅうれんらくさき ひつよう し えんないよう 緊急連絡先や必要な支援内容 か などを書くことができ、日常場 めん こま きんきゅうじ さいがいじ 面で困ったとき、緊急時、災害時 まわ えんじょ はいりよ などに、周りの援助や配慮をお ねが 願いしやすくするカードのこと。
39	で ま え こ う ざ 出前講座	し みん じょうほうていきょう たいわ いて 市民への情報提供と対話の一 かん 環として、市職員が市民からの ようぼう おう ち い き で む し 要望に応じて地域に出向き、市 し さ く じ ぎ ょう の施策や事業についてわかりや せつめい おこな とりくみ しく説明を行う取組。
40	ふく し どくほん 福祉読本	おも がっこう しょう ふくし かん 主に学校で使用する福祉に関 きょういく きょう か しょ にゅうもん する教育のための教科書・入門 しょ 書のこと。



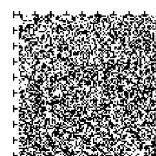
ページ	ことば 言葉	いみ 意味
40	でいすかつしょん ディスカッション	とうろん とうぎ ぎろん 討論、討議、議論のこと。
41	さぽーとほつとききん （市民まちづくり 活動促進基金）	しみん けふ げんし し 市民からの寄付を原資に、市 みんだんたい じぎょうじよせい おこな 民団体への事業助成を行うと もに、きふぶんか じよせい はか せい もに、寄附文化の醸成を図る制 ど度。
42	ぶつりてきばりあ 物理的バリア	だん さ つうこう さまた しやうがいぶつ 段差や通行を妨げる障害物な どのしやうへき どの障壁のこと。
42	せいどてきばりあ 制度的バリア	しやう りゆう し 障がいがあることを理由に資 かく めんきよ しゆとく せいげんとう 格や免許などの取得に制限等を するしやうへき する障壁のこと。
42	ぶんか じやうほうめん 文化・情報面での ばりあ バリア	おんせいあんない てんじ しゆわつうやく じ 音声案内や点字、手話通訳、字 まくほうそう ひやうじ 幕放送、わかりやすい表示がな いなどのしやうへき いなどの障壁のこと。
42	いしきじやう ばりあ 意識上のバリア	こころ ことば しせん しやう 心ない言葉や視線、障がいの ひと まも そんざい ある人は守られるべき存在とし てとらえるなど、ひと なか 心の中にある こころ しやうへき 心の障壁のこと。



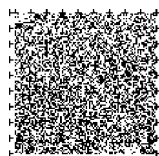
ページ	ことば 言葉	いみ 意味
43	ばりあふりー バリアフリー	<p> <small>しょう</small>障<small>がい</small>の<small>ある</small>人<small>や</small>高<small>こう</small>齢<small>れい</small>の<small>ひと</small>が  <small>にちじょう</small>日常生活<small>や</small>社<small>しゃ</small>会<small>かい</small>生活<small>を</small>営<small>う</small>む上<small>で</small>  <small>しょう</small>障壁<small>と</small>なる<small>もの</small> (物<small>ぶつ</small>理<small>り</small>的<small>てき</small>な<small>もの</small>)  <small>せいど</small>や制度<small>、</small>文<small>ぶん</small>化<small>か</small>、意<small>い</small>識<small>し</small>上<small>じょう</small>の<small>もの</small>など)  <small>かいしょう</small>を解消<small>する</small>こと。         </p>
43	ゆにばーさる ユニバーサル でざいん デザイン	<p> <small>しょう</small>障<small>がい</small>の<small>ある</small>人<small>や</small>高<small>こう</small>齢<small>れい</small>の<small>ひと</small>の  <small>とくべつ</small>た<small>め</small>の<small>とく</small>別<small>べつ</small>な<small>し</small>様<small>よう</small>をつ<small>く</small>る<small>の</small>で  <small>さいしよ</small>は<small>な</small>く、最<small>さい</small>初<small>しよ</small>から多<small>おほ</small>く<small>の</small>人<small>ひと</small>の多<small>た</small>  <small>よう</small>様<small>よう</small>なニ<small>に</small>ーズ<small>に</small>を反<small>はん</small>映<small>えい</small>してつ<small>つ</small>く<small>ら</small>れ  <small>しょう</small>た仕<small>し</small>様<small>よう</small>の<small>こと</small>。         </p>
45	おすとめいとたいおう オストメイト対応 といれ トイレ	<p> <small>びょうき</small>病<small>びょう</small>気<small>き</small>などにより<small>臓</small>器<small>き</small>に機<small>き</small>能<small>のう</small>障<small>しょう</small>  <small>がい</small>障<small>がい</small>の<small>ある</small>人<small>ひと</small>で、手<small>しゅ</small>術<small>じゆつ</small>で腹<small>ふく</small>部<small>ぶ</small>に  <small>べん</small>便<small>べん</small>や尿<small>にょう</small>の排<small>はい</small>泄<small>せつ</small>口<small>こう</small> (ス<small>す</small>ト<small>と</small>ー<small>ま</small>マ)  <small>つく</small>をつ<small>く</small>てい<small>い</small>る人<small>ひと</small> (オ<small>お</small>ス<small>す</small>ト<small>と</small>メ<small>め</small>イ<small>い</small>ト)が、  <small>べん</small>便<small>べん</small>や尿<small>にょう</small>の溜<small>た</small>ま<small>ら</small>った袋<small>ふくろ</small> (パ<small>ぱ</small>ウ<small>う</small>チ)  <small>しょうり</small>を処<small>し</small>理<small>り</small>し<small>や</small>す<small>く</small>、ま<small>た</small>排<small>はい</small>泄<small>せつ</small>口<small>こう</small>など  <small>せいけつ</small>を清<small>せい</small>潔<small>けつ</small>に保<small>たも</small>つ<small>こと</small>の<small>で</small>き<small>る</small>設<small>せつ</small>備<small>び</small>  <small>といれ</small>が<small>あ</small>るト<small>と</small>イ<small>い</small>レ<small>の</small>こ<small>と</small>。         </p>



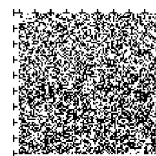
ページ	ことば 言葉	いみ 意味
48	あくせしびりてい アクセシビリティ	このプランにおいては、障がいのある人や高齢の人にとっての、使いやすさや利用のしやすさを意味し、近づきやすさという意味もある。
51	たぶれつとたんまつ タブレット端末	キーボードは付いておらず、タッチパネル（指先を画面にあてながら操作する）が採用されている薄い板状の軽量のパソコンの一種。 無線通信機能があり、通信やインターネットが利用できる。
51	あぶりけーしょん アプリケーション	ワープロソフトや表計算ソフト、画像編集ソフトなど、作業の目的に応じて使うソフトウェアのこと。
51	かうんたがた カウンタ型 じきゆうどうしすてむ 磁気誘導システム	補聴器を使用している人の“聞こえ”を磁気によって助ける機械のこと。



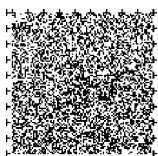
ページ	ことば 言葉	いみ 意味
51	ようやくひつき 要約筆記	<p>ちようかくしやう ひと じやうほう 聴覚障がいがある人への情報</p> <p>ほしやうしゆだん ひと ひと はな 保障手段の一つで、人が話して</p> <p>ないやう もじ いる内容をまとめて、文字とし</p> <p>つた のーと かみ て伝えること。ノートなどの紙</p> <p>てが ほうほう ぱそこん に手書きする方法とパソコンの</p> <p>がめん すくりーん ひやうじ ほう 画面やスクリーンに表示する方</p> <p>ほう 法がある。</p>
53	あいてい IT (アイティ)	<p>こんぴゅーたー いんたー コンピューターやインター</p> <p>ねつと かん ぎじゆつ そうしやう ネットに関する技術の総称のこ</p> <p>と。</p>
64	ちいきしえんいん 地域支援員	<p>ちいき ふくし だんたい きやうせい きかんとう 地域の福祉団体、行政機関等</p> <p>たい しょう ひと し に対する、障がいのある人の支</p> <p>えん せんもんてきじよげん ちいき 援における専門的助言や、地域</p> <p>しょう ひと りかい における障がいのある人の理解</p> <p>そくしんかつどうとう おこな そうだんいん 促進活動等を行う相談員のこと。</p>
64	びあさぽーたー ピアサポーター	<p>おな もんだい かか ひと なかま 同じ問題を抱える人を仲間の</p> <p>たちば しえん あ ひと 立場で支援し合う人のこと。こ</p> <p>ぷらん じぶん たいけん もと のプランでは、自分の体験に基</p> <p>づいて、おな しょう ひと づいて、同じ障がいのある人を</p> <p>しえん かつどう ひと 支援する活動をしている人のこ</p> <p>とをいう。</p>



ページ	ことば 言葉	いみ 意味
65	ぶろじえくとちーむ プロジェクトチーム	このプランでは、札幌市自立支援協議会において、特別の事項を調査審議する必要がある場合に設置する集まりをいう。
67	さぽーとふぁいる サポートファイル さっぽろ	札幌市が作成したファイルで、保護者が子どもの成長を記録し、関係者がその子どもの個性や特徴、これまでの発達の経過を共通理解するためのもの。
67	ペアレントメンター	発達障がいのある子どもを育てた経験を活かして、同じ悩みを持つ親たちの気持ちに寄り添い、相談を受けたり関係機関の紹介などを行ったりする先輩親のこと。
67	にじしやう 二次障がい	発達障がいの二次障がいとは、発達障がいを背景とした成功体験の少なさや自己肯定感の低さなど失敗体験の積み重ねにより、情緒（引きこもり、強迫症状、対人恐怖など）や行動（極端な反抗、暴力、反社会的犯罪行為など）の二次的な問題が出てしまうこと。

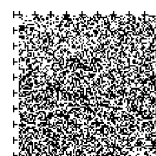


ページ	ことば 言葉	いみ 意味
67	こうどうしょう 行動障がい	<p>不安<small>ふあん</small>に感じて<small>かん</small>いること<small>にがて</small>や苦手 なことを<small>まぎ</small>紛らわせる<small>かいしょう</small>（解消）など の理由<small>りゆう</small>から、自分<small>じぶん</small>や物<small>もの</small>を傷<small>きず</small>つける、 突然<small>とつぜん</small>道路<small>どうろ</small>に飛び出<small>と</small>すなど、不適 切<small>せつ</small>な行動<small>こうどう</small>をしてしまうこと。</p>
73	はいりすくにんぶ ハイリスク妊婦	<p>出産<small>しゅっさん</small>後の<small>ご</small>育児<small>いくじ</small>への不安<small>ふあん</small>が強い、 経済<small>けいざい</small>的に困窮<small>てき こんきゆう</small>しているなど、出 産<small>さん</small>前<small>まえ</small>から支援<small>しえん</small>が必要<small>ひつよう</small>と認められ る妊婦<small>にんぶ</small>のこと。</p>
76	げーとキーパー ゲートキーパー	<p>悩<small>なや</small>んでいる人<small>ひと</small>に気づ<small>き</small>き、声<small>こえ</small>を かけ、話<small>はなし</small>をきいて、必要<small>ひつよう</small>な支援<small>しえん</small>に つなげ、見守<small>みまも</small>る人<small>ひと</small>のこと。特別<small>とくべつ</small>な 資格<small>しかく</small>は不要<small>ふよう</small>。</p>
87	とくべつしえんがっきゅう 特別支援学級	<p>障<small>しょう</small>がいがあるために、通常<small>つうじょう</small>の 学級<small>がっきゅう</small>における指導<small>しどう</small>では学習<small>がくしゅう</small>が困 難<small>なん</small>な児童生徒<small>じどうせいと</small>のために作<small>つく</small>られた 少人数<small>しょうにんずう</small>の学級<small>がっきゅう</small>のことをいい、小・ 中<small>ちゅうがっこう</small>学校<small>もう</small>に設<small>もう</small>けられている。</p>



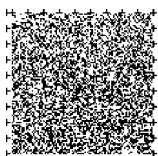


ページ	ことば 言葉	いみ 意味
87	つうきゅうし どうきょうしつ 通級指導教室	<p>しょう ちゅうがっこう つうじょう がっきゅう ざい 小・中学校の通常の学級に在 せき しょう じ どうせい 籍している障がいのある児童生 と たい しょう じょうきょうどう 徒に対して、障がいの状況等に おう とくべつ し どう おこな きょうしつ 応じた特別の指導を行う教室の ことをいい、せいと じ どう ざいせき 生徒児童が在籍す がっこう し どう おこな ば あい ざい る学校で指導を行う場合と、在 せきこう い がい し どう おこな ば あい 籍校以外で指導を行う場合があ る。</p>
91	げんき か ふ え 元気カフェ	<p>おお し みん おとす こうきょうし せつ 多くの市民が訪れる公共施設 とう ぼうかん い しょう 等の空間を生かし、障がいのあ ひと せっきやくとう つう る人が接客等を通じてたくさん ひと こうりゅう しょう の人と交流することで、障がい たい し みん り かいそくしん に対する市民の理解促進につな げていくことや、しょう 人が生き生きと働く姿を見ても ひと い い はたら すがた み らうことにより、みんかん きぎょうどう 民間企業等に しょう しゃ こよう そくしん はか おける障がい者雇用の促進を もくてき せつ ち ることを目的として設置された きっさ こ ー な ー 喫茶コーナー。</p>





ページ	ことば 言葉	いみ 意味
92	ちいきかつどう し えん 地域活動支援 せんたー センター	<p>(1) 一般型：地域で暮らす障がいのある人が日中活動等を行うセンターのこと。</p> <p>(2) 相談支援併設型：札幌市障がい者相談支援事業所と一体的に運営し、主に精神障がいのある人を対象に、日中活動などを行うセンターのこと。</p> <p>(3) 就労者支援型：札幌市障がい者就業・生活相談支援事業所と一体的に運営し、就職又は雇用の継続を目指す障がいのある人同士の交流促進、情報交換を行う場を提供するセンターのこと。</p>
94	ちいききょうどう さ きょうしよ 地域共同作業所	<p>ざいたく しよう ひと たい 在宅の障がいのある人に対し、 そうさくてきかつどう しゃかいさん か 創作的活動や社会参加のための ば ていきよう にちじょうせい 場を提供するとともに、日常生 かつじょう し えん おこな 活上の支援などを行うところ。</p>
99	ようはいりよしゃ 要配慮者	<p>しよう ひと こうれい ひと にん 障がいのある人、高齢の人、妊 さんぶ にゅうようじ さいがいじ とく 産婦、乳幼児など、災害時に特に はいりよ ひつよう ひと 配慮を必要とする人のこと。</p>



ページ	ことば 言葉	いみ 意味
104	しょうひせいかつすいしんいん 消費生活推進員	<p>さっぽろし いしよく こうれい 札幌市から委嘱され、高齢の ひと しょう ひと ひょうてき 人や障がいのある人を標的にし あくしつしょうほう しょうひしゃ ひが た悪質商法による消費者被害の みぜんぼうし そうき はっけん きゅうさい もく 未然防止、早期発見・救済を目 てき ひがいしゃたく ほうもん ひが 的に、被害者宅を訪問し、被害の じったいちようさ そうだん う つ ひつ 実態調査や、相談を受け付け、必 よう おう しょうひしゃ せん た ー そう 要にに応じて、消費者センター相 だんしつとうかんけい き かん ひきつ おこな 談室等関係機関に引継ぎを行う で まえこう ざ とう けいはつかつ ほか、出前講座等による啓発活 どう おこな ひと 動を行う人のこと。</p>
104	しょうひせいかつさぽーたー 消費生活サポーター	<p>きぎょう だんたい ひとまた こじん 企業や団体の人又は個人で、 さっぽろし さぽーたー ー とうろく しょう 札幌市にサポーター登録し、消 ひしゃ とらぶる みぢか 費者トラブルにあって身近 しみん しょうひしゃ せん た ー そうだんしつ な市民を消費者センター相談室 しょうかい しょうひ しゃもんだい に紹介することや、消費者問題 かん けいはつかつどう おこな ひと に関する啓発活動を行う人のこ と。</p>
136	てんじそくじ 点字即時 ねつとわーくじぎょう ネットワーク事業	<p>しかくしょう ひと しゃかいさん 視覚障がいのある人の社会参 かそくしん ふくし こうじょう はか 加促進と、福祉の向上を図るた しんぶんとう さいしん じょうほう てん め新聞等による最新の情報を点 やく えつらん ていきょう じぎょう 訳し、閲覧、提供する事業のこと。</p>

